

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(土)・六日(日)

午前九時半より(午前のみ)

五日(土)午後三時半より

仏教婦人会報恩講



今号の法語

「迷わずいけよ」

と言っても、

俺にも迷う時もある

アントニオ猪木



今号の内容

- ・三年ぶり！子ども・婦人会報恩講
- ・仏事のQ&A ～三具足みつ～
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム



今回の法語は、先日亡くなられたアントニオ猪木さんの言葉です。「元気ですかあ〜！」と、いつも私たちを励ましてくれていた猪木さん。一方で、今回のこの言葉には、いつものエネルギーギッシュな猪木さんとはまた違う、私たちに優しく寄り添ってくれる、人間・猪木の魅力が詰まっています。

「迷わず生きる」というのはカッコいい生き方ですが、実際はなかなかできることはありません。色々と経験すればするほど慎重になり、「迷ってしまう」のが私たち。ですが本当に怖いのは「迷う」ことではなく、うつむいて力なく、下ばかり向いて生きてしまうことではないでしょうか。

時に力強く、時に優しく私たちに力を与え続けてくれた猪木さん。猪木さんの言葉は、これから私たちに元気を与え続けてくれることでしょうか。ありがとうございます。合掌。

三年ぶりにつとめます♪

子ども・婦人会報恩講

報恩講の季節がやってきました。コロナ禍に入って三回目の報恩講となります。

今年も門徒役員の方々と話し合い、お齋(食事)は控ええ、二日間を午前のみでおつとめさせていただくことになりました。



また今年は、夕方からおつとめしていた子ども報恩講・

仏教婦人会報恩講を三年ぶりに再開させていただくことに。飲食を控え例年通りとはいきませんが、今年ならではの子ども・婦人会報恩講ができればと思っています。

子ども報恩講においては、近年では季節外れの肝試しが恒例でした。今年はそれに代わる、元気に遊べる楽しいお参りを企画中です。

みなさんで迎えする報恩講。今年はこちらようど休日になります。ぜひ皆さんも、お寺で一緒に親鸞聖人を偲んでお参りさせていただきましよう。

仏事の疑問 Q & A

質問 仏壇の蝋燭やお花って

どう置けばいいんですか？

皆さんはお仏壇にお供えするお花や蝋燭、どのように置いておられますか？

一般的には左の図のように、三具足といわれるお飾りをします。

左から順に、花瓶・香炉(金香炉・香炉台・土香炉)・蝋燭立となつていきます。

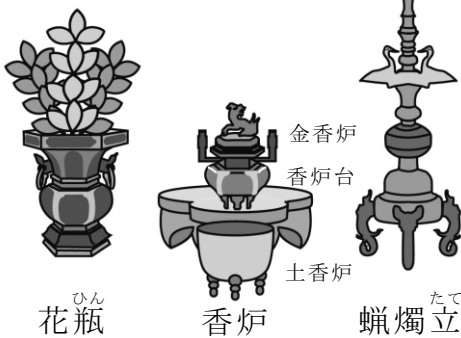
ただし、これはあくまでお手本。お仏壇の作りによって、このものをお仏壇の手前に置く(外に出す)スタイルも増えてきました。

お仏壇にお供えしやすいよう、おぼくさん(お仏飯)含め、手前に置いておられる方もおられます。

置き方はあくまで参考程度に。大切なのは、仏さまにお参りすることですものね。

三具足の置き方

※他に五具足という置き方もあります



千夏ちなつのきときと日記

十月十日に親戚のお寺さんで大法要がありました、寺族で伺う機会がありました。私と娘は初めての稚児行列ということで楽しみにしていました。当日は稚児行列の時間だけ晴れ間があり、たくさんのお稚児さんたちとお練りをする事ができました。

この大法要、実は最初令和二年五月に勤まる予定でした。しかしコロナ禍による二度の延期を経て、三度目によりやうく大法要がお勤めされることになったのです。



お兄ちゃんお姉ちゃん達と一緒に

私としては今年大法要が勤まったことにより、娘と稚児行列をさせていただくという貴重なご縁をいただきました。しかし、この三年で子どもさんの都合がつかず断念された方も多いと思います。また何度も

延期されたことよって、そのお寺さんやご門徒さんも大変な思いをされてこられました。自分が幸せを感じている時は、他の人の苦しみには気付きにくいものです。様々な思いを想像し、寄り添う気持ちを忘れずにしたいと思います。

住職コラム

早や秋も深まり、先日来春に向けて狭いながらも畑に球根の植え付けをしました。

球根は、一歳になった孫をはじめ四世代の女性陣が砺波の球根組合へ行き、花色自由に購入してもらいました。

前々より除草して石灰を散布し、元肥も施して準備をし、当日は穴をあけて球根を放り込むだけ…。実に簡単でしたが、晴天にも恵まれ賑やかに

終わりました。

この後は隣の冬菊が成長してきており、冬の積雪に備えて竹棒を立てていきました。

毎年季節が間違はなく巡り有難いことですが、私どもの「わがまま」も「のぞみ」もそのまま受け止めて包み込んでくださる方もおられます。

折しも間もなく当寺「報恩講」をお迎えいたします。とくとくと聴聞してまいりたいと思います。

合掌 なまんだぶ



お知らせ

令和四年

おみがき

十月二十五日(火)

午前九時より

報恩講

十一月五日(土)・六日(日)

午前九時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

子ども報恩講

十一月五日(土)

午後一時半より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(土)

午後三時半より

伏木・勝興寺さん全景



御講師

新湊組 覚円寺

青木 哲隆 師

※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせていただきます。

ただきます。

編集後記

伏木の勝興寺さんが国宝になることが決まりました。小さい頃、遠足でよく行ったという方も多いのではないのでしょうか? 「勝興寺の七不思議」の一つ「天から降った石」を、心ときめかせながらカンカン叩いていたのが思い起こされます。

これで瑞龍寺さんとあわせ、高岡市に国宝が二つになります。北陸地方全体でも建造物の国宝は珍しいようで、他には福井県小浜市の明通寺さんしかないそうです。

現在、勝興寺さんは参拝者でいっぱいとのこと。国宝パークはすごいですね。この活気が続き、地域全体で盛り上がってくれば有り難いです。さて、勝興寺さんも私たち

広濟寺と同じ、浄土真宗本願寺派(お西)のお寺なのですが、私たちがの本山である西本願寺においても、来年大きな法要をお迎えしようとしています。来年三月から五月にかけてつとまる、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要です。

この慶讃法要に向けて、五年前から西本願寺では阿弥陀堂(国宝)などが修復されました。この際にも、たくさんのご門徒さん方に懇志を協力いただき本当にありがとうございました。

本来ならば皆さんと共に本山にお参りさせていただきました。山にお参りさせていただきます。コロナ禍。難しい状況が続きます。うですが、京都に行く時にはぜひ本願寺にもお参りなさってくださいね。